

第1章 高岡市総合交通戦略について

第1節 戦略の目的

近年の急速な人口減少や少子高齢化をはじめとする社会経済情勢の変化に対応すべく、コンパクトな集約型都市構造への再編が急務であり、これを支える公共交通の重要性はますます高まっています。また、モータリゼーションの進展により自動車への依存が高まるなか、歩行者、自転車、公共交通との適正分担を図り、安心・安全で利便性の高い交通を実現するため、総合的な都市交通の戦略の策定が求められています。

また、平成26年度末の北陸新幹線開業、城端線新高岡駅の設置、JR北陸本線の並行在来線化などにより、高岡市の公共交通は大きく変貌を遂げようとしています。

このため、本市が今後目指すべき交通について、まちづくりと一体的に構想し、本市の公共交通の基本計画として、具体的施策としてとりまとめる「高岡市総合交通戦略」を策定しました。

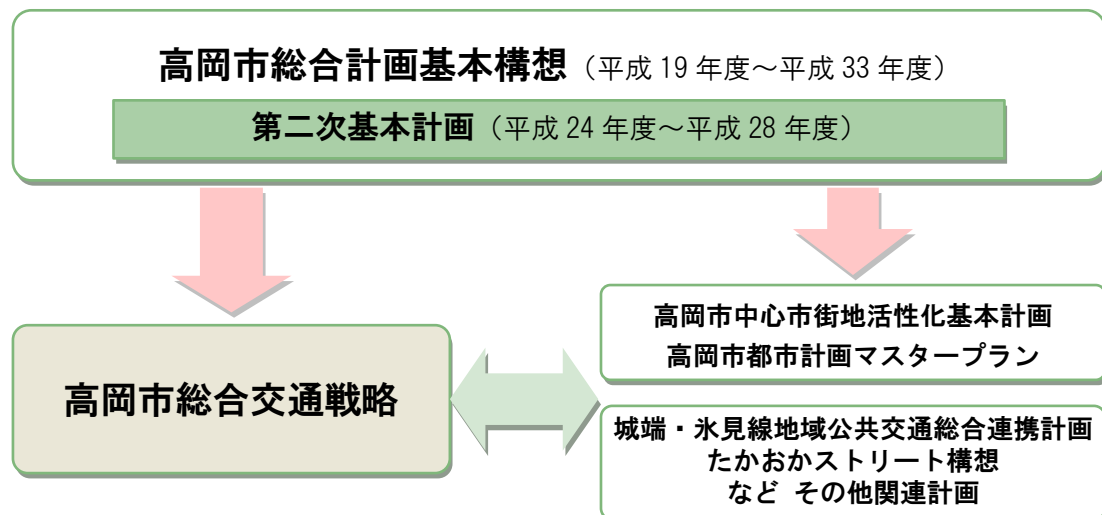
総合交通戦略について

進展する少子・超高齢社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等のため、過度に自家用車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、望ましい都市・地域像の実現を図る観点から、地方公共団体を中心として、関係機関・団体等が相互に協力し、都市・地域が抱える多様な課題に対応すべく、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るものであり、もって魅力と活力があふれる都市・地域の整備を行うことを目的とする。

都市・地域総合交通戦略要綱より

第2節 戦略の位置付け

高岡市総合交通戦略は、高岡市総合計画に基づく将来都市構造を実現するため、関連する高岡市中心市街地活性化基本計画や高岡市都市計画マスタープランなどを踏まえながら、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るものです。



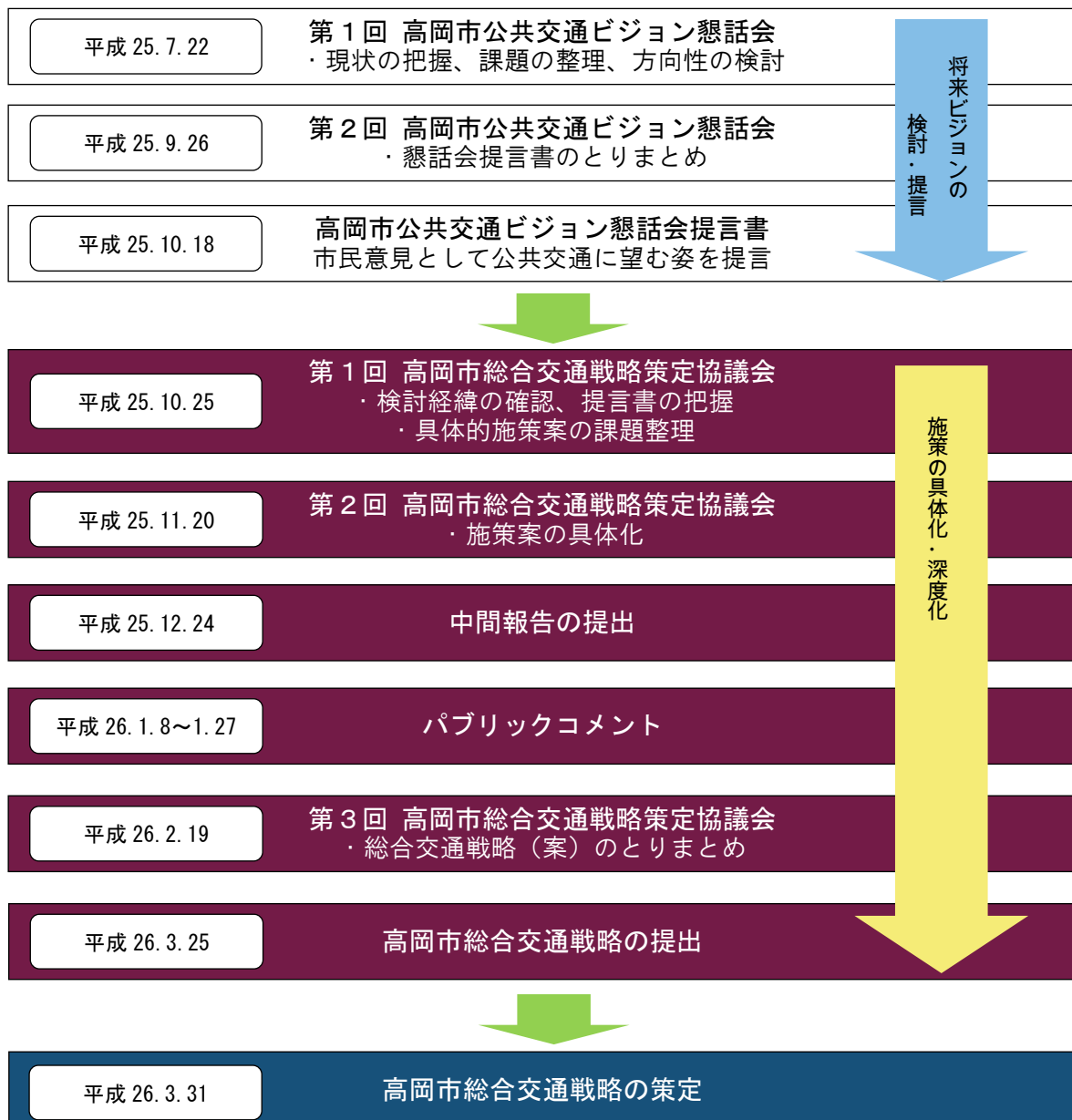
第3節 戦略の策定経緯

高岡市総合交通戦略の策定に先立ち、市民・利用者の立場から、本市の交通とまちづくりに望む姿を提示し、戦略策定の方向付けを行うことを目的に「高岡市公共交通ビジョン懇話会」が設置・開催されました。

この懇話会では、本市の交通とまちづくりの現状や課題を整理した上で、交通のあるべき姿について協議、検討が行われ、高岡市公共交通ビジョン懇話会提言書としてとりまとめられました。

この提言を踏まえ、学識経験者、市民、経済団体、交通事業者、関係行政機関により、専門的見地から実効性のある戦略を検討するために「高岡市総合交通戦略策定協議会」が設置・開催されました。

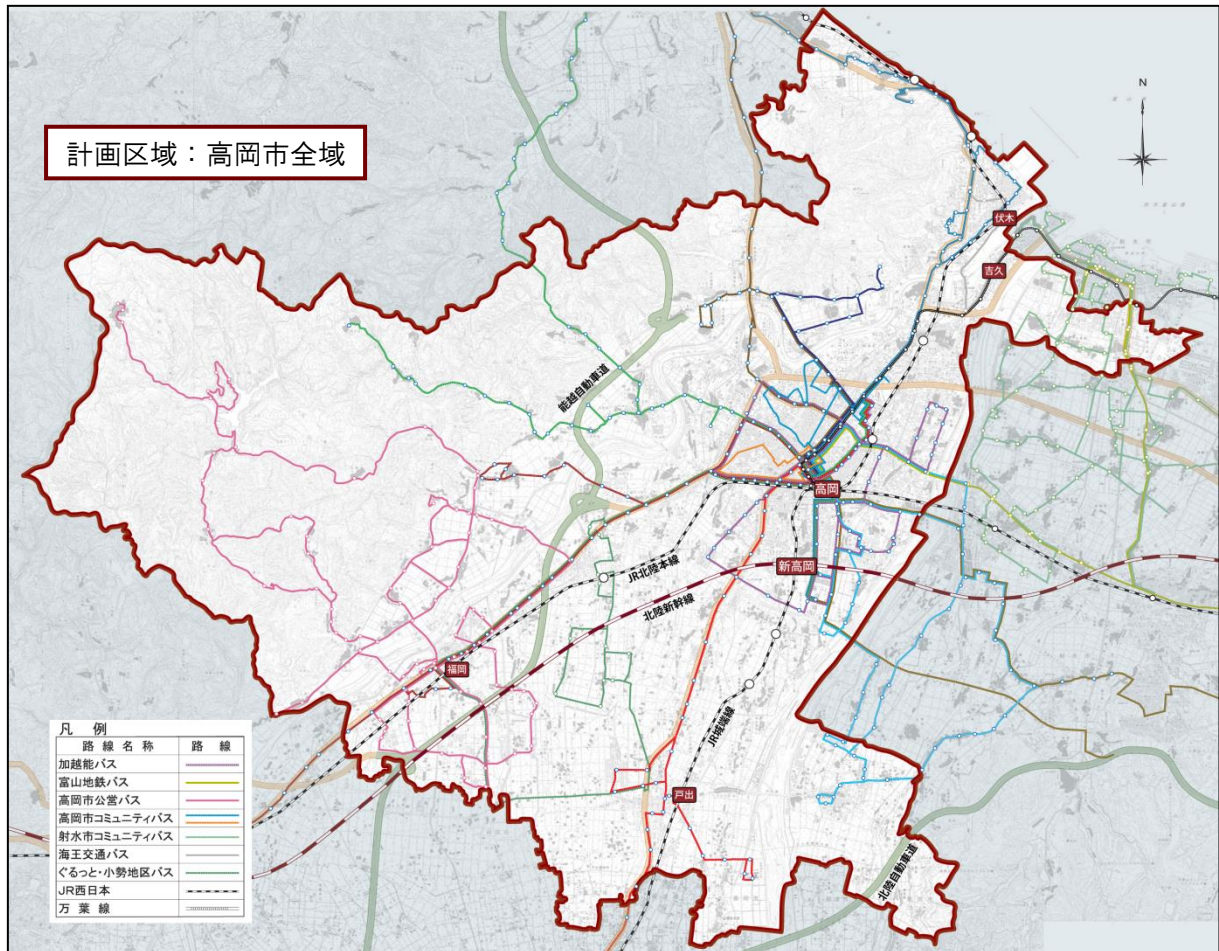
この協議会では、目指すべき将来像を実現するために、具体的施策や事業目標等について協議、検討が行われ、高岡市総合交通戦略としてとりまとめられました。



第4節 戦略の対象区域

高岡市総合交通戦略は、高岡市全域を対象とします。

また、広域的な公共交通や幹線道路では、これまでも沿線自治体などと連携した取組みを進めていることから、これらの広域的な取組みも合わせて戦略をとりまとめるものとしています。



第5節 戦略の計画期間

高岡市総合交通戦略は、策定の次年度である平成26年度（2014年度）を開始年次とし、10年後の平成35年度（2023年度）までを計画期間とします。

本戦略に位置付けた施策事業は、社会情勢・経済情勢の変化に応じて見直しを実施します。



社会情勢・経済情勢の変化に応じて見直しを実施